

## 「重陽の節句」茶会

日 時 平成 24 年 9 月 29 日(土)

会 場 旧園邸・松向庵

対 象 小学生以上

定 員 25 人×2 席、計 50 名程度

参加費 1 人 500 円

席 主 表千家茶道教授 出村宗貞

内 容 金沢には歴史的にも貴重で由緒ある茶室が数多くあります  
そうした茶室の一つである「旧園邸・松向庵」におきまして  
五節句のひとつである重陽の節句に合わせ、五節句のいわれ  
や風習を解説し、併せて茶会を開催します  
心静かに「茶室でのひととき」を過ごしてみませんか

平成二十四年九月二十九日(土)

重陽の節句茶会記

於 旧園邸・松向庵

主 出村宗貞

寄付

掛物 兼中齋筆 懷紙 秋菊有佳色  
脇地袋二 塑像彩色人形 夕映

紺谷力作

中ノ間

掛物 太玄老師筆 月二雁ノ絵  
贊端居シテ云々

本席

掛物 菊ノ絵 景文筆  
香炉 獅子

弘入作 惺齋箱書付

琵琶台二  
花入 籠

季ノ物

釜 惺齋好刷毛目切合

喜平作

風炉 惺齋好ツボツボ透琉球風炉

喜平作

真塗長板 虫ノ絵細水指

英治作

茶器 十代宗哲写春秋一双ノ内秋草模様大棗

泉齋作

茶碗 大樋焼 銘つれづれ

九代長左衛門作 而妙齋箱書付

替 交趾 菊文

翠嵐作

替 九谷焼 菊ノ絵

東山窯

建水 銘初紅葉

柴田英雄作

蓋置 銀溜結紐蒔絵

雅峯作

菓子器 真葛焼 万寿菊ノ絵

香齋作

菓子 九谷焼 月二兔ノ絵

東山窯

御茶

加陽の白 榊形粒足一閑塗

水本製

火入 香炉釉

綠翠園詰

煙管 如心齋好 筋

表朔作

吐月峯 白竹四寸五分

樂入作

次の間

吉左衛門作

掛物 尋牛齋筆 色紙 清秋竹露深

浄益作

以上